

NPO法人 ASTER 「ソフトウェアテスト技術振興協会」の ご紹介



<http://www.aster.or.jp>

2008年6月27日

NPO ASTER 副理事長 大西建児

NPO ASTERとは？

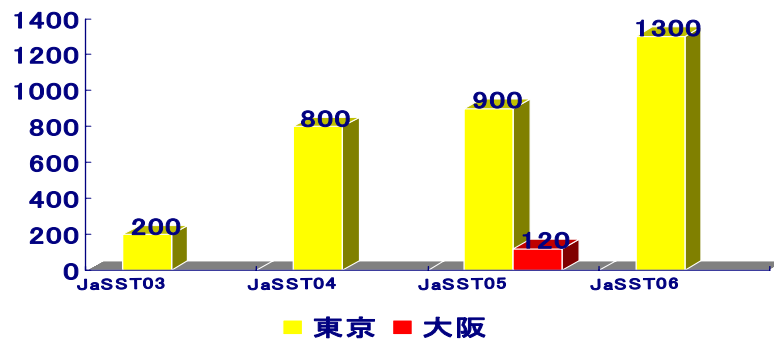
- ・ 英文名 Association of Software Test Engineering
 - 略称「ASTER」読み方「アスター」
- ・ JaSSTを主催するソフトウェアテストシンポジウム実行委員会が母体
 - 2006年 設立（東京都にて法人認定）
 - » 現在3期目
 - 活動は全国で展開中



なぜNPO化？

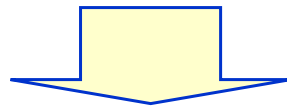
2003年にJaSSTを開始以来、毎年規模が大きくなり、運営上法人格が必要になったことが最初の理由

JaSST来場者推移(延べ人数)



なぜNPO化？

- ソフトウェアテストに関する技術を普及・発展させるための社会的な受け皿が必要
- 産学間や組織間の壁を越えて、活動しやすい組織が求められているのではないか？
- 社会的にも認知されやすい組織形態を持つ必要がある

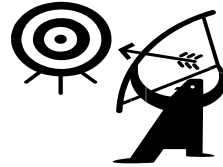


NPO法人設立へ

ASTERの目的

- 目的 ～定款より

この法人は、広く一般市民を対象として、
ソフトウェア品質向上に関する教育事業
ソフトウェア品質向上に関する調査研究事業
ソフトウェア品質向上に関する普及振興事業
を行い、ソフトウェア品質向上に関する社会教育の推進および専門能力の開発を通じて、社会全体で品質が高いソフトウェアの流通と活用がなされることで高度情報化社会の発展に寄与すること

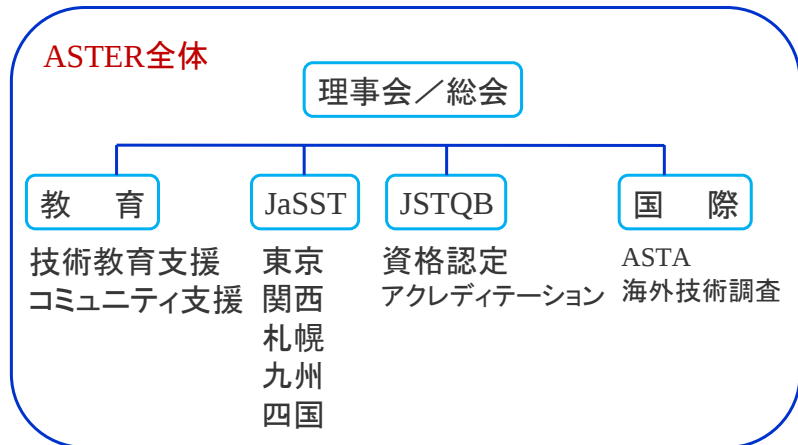


ASTERの事業内容

- (1) ソフトウェア品質向上に関するセミナー、ワークショップの開催など教育事業
- (2) ソフトウェア品質向上に関する調査及び教育カリキュラムの作成、標準の開発、研究会の開催、ソフトウェアの開発など調査研究事業
- (3) ソフトウェア品質向上に関するホームページの運営、イベント出展、シンポジウムの主催、出版物の発行 など普及振興事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ASTERの事業内容

- 組織構造



教育事業

- ソフトウェアテストの基礎教育やコミュニティの支援を実施
 - パブリックな基礎技術教育のためのコンテンツ作成と展開
 - コンテンツはASTERが提供し、運営（講師も含め）は地域で自律して実施できることを目指す
 - 実績： 大分、札幌
 - コミュニティ活動の支援
 - ボランティアベースのコミュニティ主催による勉強会実施やイベントへのリソース支援
 - 実績： WACATE（若手技術者による自主的な研修会）への運営費支援 <http://wacate.jp/>

国際事業

- ソフトウェアテストに関する海外の団体との交流や技術トレンドの調査・研究などを行う
 - ASTA(Asia Software Testing Alliance) への参画
ソフトウェアテストに関する知識、事例および人的・物的資源を、アジアの国々において提携し共有することにより、ソフトウェアの品質の向上を図ることが目的
 - » 現在は日本、中国、韓国、マレーシア、ベトナムの5カ国
 - » JaSST'08東京では1トラック実施し交流を図った
 - 調査研究事業
 - » ASTA加盟国やISTQB加盟国でのテストに関わる国際会議への派遣や海外事例の調査・研究などを行い、国内へフィードバックする
 - » 国内のテストに関するノウハウを海外へ発信する

JaSST事業



てす太郎

<http://www.jasst.jp>

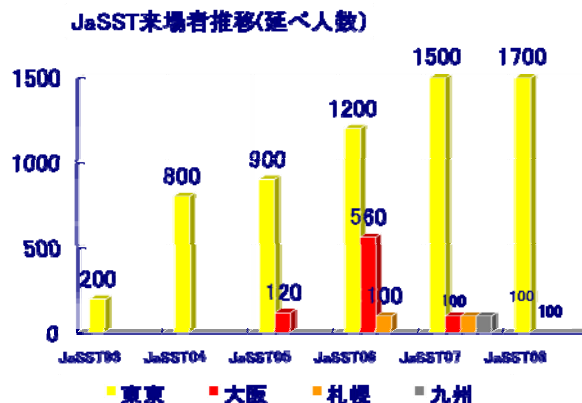
過去の発表資料や論文もあるから見てぴよん

JaSST(ジャスト)とは？

- Japan Symposium on Software Testing
- 2003年から実施しているソフトウェアのテスト、レビューなど品質、信頼性に特化した国内最大級のシンポジウム
 - 来場者はテスト・品質保証に興味がある方ばかり！
 - » Sierからソフトハウス、組込みシステム開発組織、ツール開発企業など多岐に渡る分野から参加
- 最先端の話題から実践事例まで、活発な議論や情報交換を行う場
 - テスト方法論や技法、形式検証、静的解析、ツール活用方法 など多彩
- 今や全国で展開中
 - 東京、大阪(関西)、札幌、福岡(九州)、そして、**四国へ！**

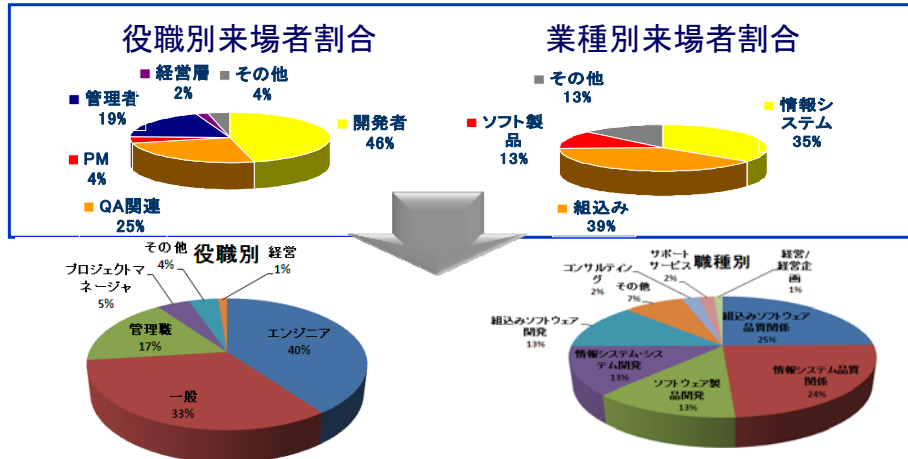
JaSSTは毎年成長しています！

2003年以来、毎年 参加者の皆様とともに成長しています



JaSSTの来場者層は？

・ 東京の来場者層の変化(2007年～2008年)



メディアでも注目されています！

Webサイト

@IT
@Seminar
Biophilia.jp
BPネット
EE Times Japan
ITPro
IVIA
JNSA Press
Tech On

イベカレ
組込ネット
組込みZine
日本科学技術連盟
日本情報産業新聞
日本信頼性学会
宮城県産業技術総合センター

など

メルマガ/ニュースレター

インプレスIT メールマガジン
CodeZine メールニュース(翔泳社)
SEMS メールニュース(翔泳社)
@IT通信(アイティメディア)

ITmedia Headlines(アイティメディア)
IBM developerWorks Newsletter
マイコミジャーナル(毎日コミュニケーションズ)

など

メディアでも注目されています！

技術誌

ソフトウェアテストPress(技術評論社)
組込みPress(技術評論社)
開発の現場(翔泳社)

日経コンピュータ(日経BP社)
日経エレクトロニクス(日経BP社)
インターフェース(CQ出版)
システム開発ジャーナル(毎日コミュニケーションズ)

など

2008年開催地

東京 目黒 1月30, 31日 実施済み

関西 大阪 6月5, 6日

札幌 札幌 10月24日

九州 大分 11月7日

JSTQB事業



<http://www.jstqb.jp>

 **ISTQB**
International Software
Testing Qualifications Board

81,855*

ISTQB Certified Testers Worldwide

Are you on the right track?

www.istqb.org



* Reported March 2008

JSTQBとは？

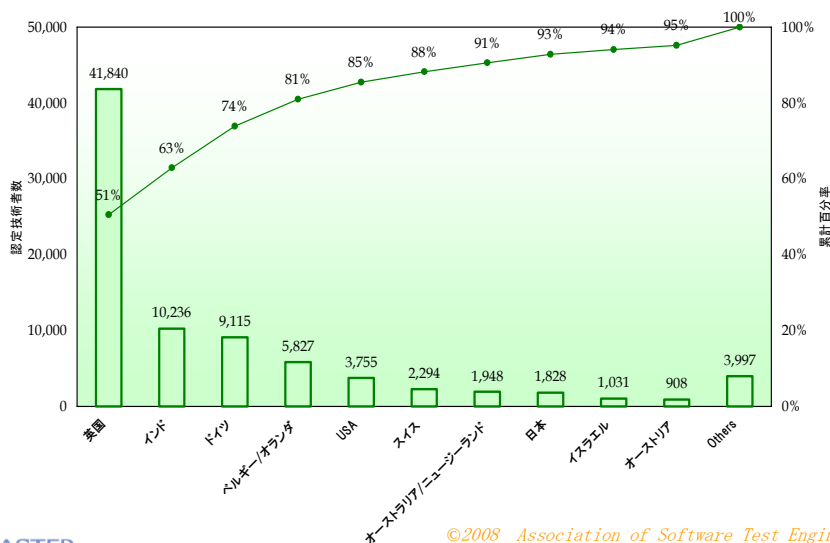


- 日本におけるソフトウェアテスト技術者資格認定の運営組織
 - Japan Software Testing Qualifications Board
 - » 非営利で運営を行っている
 - 現在Foundation Levelの資格認定を展開中
 - » Advance Levelは国内展開に向け準備中
 - 試験実施を受託する組織とパートナーシップを結ぶ
 - » 現在のパートナー: 日本科学技術連盟 (www.juse.or.jp/)
 - シラバスを実施する組織を認証す
 - » ソフトウェアテスト技術教育の質の向上のきっかけとしてほしい
- ISTQBの加盟組織として2005年4月に認定
 - ISTQB: International Software Testing Qualification Board (www.istqb.org)
 - » 2002年ヨーロッパで設立(本部はベルギー)
 - 38カ国以上の国や地域のテスト技術者認定組織が参加
 - » 加盟国: アメリカ、オーストラリア、デンマーク、オランダ、フィンランド、ドイツ、インド、イスラエル、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スウェーデン、スイス、イギリス、フランス、日本、韓国、スペイン、中国、ベトナム、マレーシア...
 - 各国団体は資格および教育・訓練組織認証について相互認証を行う



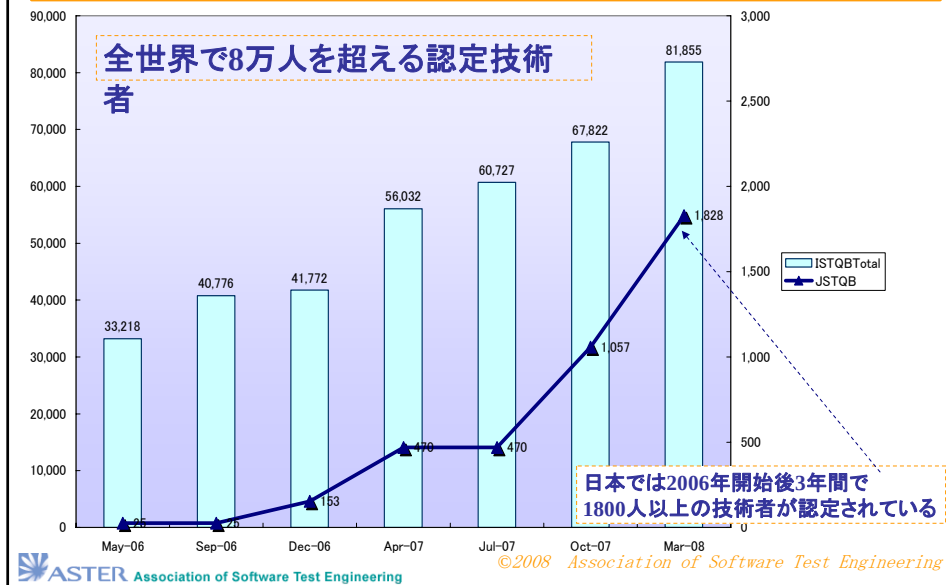
国別認定技術者数比率

2008年4月現在



ISTQB認定技術者数の推移

2008年4月現在



ISTQB 資格認定試験の概要

• 資格試験の時期・頻度

- 2006年1月よりFoundation Levelの認定試験を実施

» 受験料: 21,000円 (税込み)

- 年2回ほどのペースで試験を実施

» 毎年夏8月と冬2月を予定

» 次回 第5回 8月30日

開催予定地 東京、大阪、名古屋、札幌、福岡

※40名程度集まる地域なら開催可能

• 資格試験の形式 (Foundation Level)

- 問題形式: 選択問題

- 出題数: 40問

» 合格ラインは非公開

- 試験時間: 60分

- 出題範囲: シラバスに準拠

» 日本語のISTQBテスト技術者資格制度Foundation Levelシラバスと用語集はJSTQBのサイトから無料でダウンロードできます

ISTQB CTFL シラバスの概要(参考用)

1. テストの基礎

- 1.1. テストの必要性
- 1.2. テストとは何か?
- 1.3. テストの一般原則
- 1.4. 基本的なテストプロセス
- 1.5. テストの心理学

2. ソフトウェア・ライフサイクルを通じてのテスト

- 2.1. ソフトウェア開発モデル
- 2.2. テストのレベル
- 2.3. テストの種類(タイプ):
テストのターゲット
- 2.4. 保守テスト

3. 静的技法

- 3.1. レビューとテストプロセス
- 3.2. レビュープロセス
- 3.3. ツールによる静的解析

4. テスト設計技法

- 4.1. テスト条件の決定とテストケースの設計
- 4.2. テスト設計技法のカテゴリ
- 4.3. 仕様ベース、ブラックボックスのテスト技法
- 4.4. 構造ベース、ホワイトボックスのテスト技法
- 4.5. 経験ベースのテスト技法
- 4.6. テスト技法の選択

5. テストのマネジメント

- 5.1. テスト組織
- 5.2. テスト計画と見積
- 5.3. テスト進捗のモニタリングとコントロール
- 5.4. 構成管理
- 5.5. リスクとテスト
- 5.6. インシデント管理

6. テスト支援ツール

- 6.1. テストツールの種類
- 6.2. ツールの効果的な使い方: 利点とリスク
- 6.3. 組織へのツールの導入

ご清聴ありがとうございました

NPO ASTERの活動へのご理解とご協力を賜ります様
よろしくお願い申し上げます